



CLINICALPATH NEWS

Japanese Society for Clinical Pathway
日本クリニカルパス学会

No.
34

発行日
2015年10月13日

in 大阪

2015年度クリニカルパス教育 セミナー(大阪)に参加して

2015.8.1

九州大学病院 パス事務局
西馬みどり

2015年度クリニカルパス教育セミナー(大阪会場)に参加し、「アウトカム志向クリニカルパスの作成と使用」、「電子パスの課題や問題点」、「院内パス活動の進め方」、「地域連携クリニカルパスの源流と潮流を探る」の講演を拝聴させていただきました。

セミナーでは、1) クリニカルパスの定義が定められたこと、2) バリエーション分析を行うことは必須であること、3) バリエーション分析を行うにはアウトカム志向型パスを使用し、患者アウトカム、医療者アウトカムを正しく評価する必要があること、4) 正しい評価をするためのアウトカム設定は医療者アウトカムでは多職種で検討・意識を合わせ、エビデンス・経験に基づくものであること、5) 患者アウトカムでは患者にとって希望の持てる目標を設定すること、6) アウトカムが達成できない場合がバリエーションであり、このバリエーションを収集、分析し、パスに蓄積されているバリエーション以外のデータの分析結果と合わせて、パスを改訂し、最終的には医療の質向上に繋げること、などなど「アウトカム志向型パスを使用する利点は何か?」などの質問を院内のパス事務局に寄せてくるスタッフに対する回答を教えていただけたと感謝しております。



また、今後はこのような質問に対しては、「医療の質を管理しない組織は生き残れない、質改善は継続的努力が必要です。質改善のツールとして、電子パスは最強のツールですから、電子パスを作って使いましょう。」という白鳥義宗先生の言葉をお借りして、回答もグレードアップできそうです。

ただ、バリエーションの発生に関しては、バリエーションが発生したら、どう対応すれば良いか、直ちにパスを逸脱すべきか、などの質問を寄せてくるスタッフもあり、職員の異動が多い当院では、バリエーションに対する考え方を周知することが難しいと感じることもあります。

しかし、岡本泰岳先生がご講演で「患者アウトカムの設定が不適切だと、バリエーション発生に対して適切な対応がしづらい」とお話されました。当院も作成されたパスはパス委員会で内容を検討した上で、使用可能としておりますが、この検討作業の時点でアウトカム設定に関する検討が少し不足しているのではないかと感じました。

- ▶ 2015 年度クリニカルパス教育セミナー（大阪）に参加して
- ▶ 2015 年度クリニカルパス教育セミナー（東京）に参加して
- ▶ 2015 年度クリニカルパス教育セミナー（仙台）に参加して

「どのアウトカムが一番大事なのか、何に早く気づけば、患者さんの予後が良くなるのかなどのクリティカル インディケーターの設定が重要である」、「クリティカル インディケーターは1つのパスで2～3個である」というアウトカム志向型パス作成の基本をもう一度、パス委員会で確認したいと思います。

クリニカルパスの定義が定められ、パスデータの分析が重要となり分析手法や分析結果の報告が盛んに行われるようになりましたが、パスを使用している現場スタッフに分析結果を提示しても、診療・看護の経験から当たり前の結果だと思われることが多々あります。この経験値がデータ化され、これまでの診療・看護行為の妥当性を裏付けすることが可能となったことを理解していただけたら、一層、電子パスの利用率が向上し、より詳細なパス分析も可能となると思います。

最後に、アウトカム志向型パスを使用している全施設において、パスデータの分析を実施できるようになるには、時間がかかることでしょう。特にパス活動の中心が事務職員の場合には、パスデータの分析はハードルの高いものだと思います。

そこで、パス分析手法に関する研修会など、職種を問わず参加できる教育セミナーを日本クリニカルパス学会主催で開催していただけると幸いです。よろしく願いたします。



in 東京

2015 年度クリニカルパス教育 セミナー（東京）に参加して

2015.8.8

東京女子医科大学病院
機能・情報管理部、クリニカルパス推進室
横山由美子

2015 年度クリニカルパス教育セミナー（東京）に参加させていただきました。今年のテーマは「クリニカルパスを役立てよう！広めよう！～実践ノウハウ～2015」です。

当院は、クリニカルパスの推進に取り組み約 10 年経ちます。その間、紙パスから電子カルテへの移行。さらに電子カルテのバンダー変更などを経験しました。大学病院でパスを推進していくのは大変難しい面がありますが、毎年パス学会や教育セミナーに参加し、学習を積み重ねパスに向き合っています。パス教育セミナーは大変重要な学習の場です。



各講師からはパスの実践者としての豊富な知識と経験から、パスの実践ノウハウを教えてくださいました。

吹矢三恵子先生（福井総合病院）の「アウトカム志向のパス運用と記録」では、パスの基本とアウトカム志向のパス作成～運用法。パスと記録については、パスにおける記録のあり方、評価の意味、看護必要度とパス記録の関連などを学びました。

勝尾信一先生（福井総合病院）の「電子カルテパスでできること・できないこと・すること」では、電子カルテパスの機能について、できること/できないこと/役に立つこと/役に立たないことに分類し、それぞれの機能について詳しい説明がありました。また、電子化されるとすべてが解決すると期待していましたが、実は電子カルテに期待しすぎはいけないことなど、いろいろあることがわかりました。

堀江健夫先生（前橋赤十字病院）の「院内パス活動の進め方」では、前橋赤十字病院の具体的パス委員会活動の3つの戦略、1. パス作成・適応率の推進、2. 質向上のためのバリエーション解析支援、3. パス教育・推進活動、について具体的な紹介がありました。私たちも改めて院内のパス活動の在り方を学びました。また元気でユニークな先生の活躍する姿に大きな力をいただきました。

伊藤淳二先生（青森県立中央病院）の「地域連携パスの分析による新たな連携の構築～連携パスのPDCA サイクル～」では、青森県で運用している「大腿骨頸部骨折地域連携パス」の具体的な運用とバリエーション分析、そして地域全体のTQMへとつながる取り組みについての実践モデルの紹介がありました。循環型の地域連携パスが地域に根付き、地域全体の質向上に貢献していることが大変印象に残りました。

このセミナーで学んだことを今後の実践で活かしていけるようにしたいと思います。

in 仙台

2015 年度クリニカルパス教育 セミナー(仙台)に参加して

2015.9.12

東北薬科大学病院 整形外科
石塚正人

今回、2015 年度クリニカルパス教育セミナー（仙台会場）に参加させていただきました。現在私は東北薬科大学でクリニカルパス実行委員長をしています。東北薬科大学病院とは聞き慣れない方も多いかと思いますが、前の東北厚生年金病院です。第5回日本クリニカルパス学会学術集会を開催したこともあり、今回も縁あって仙台の地で、クリニカルパス教育セミナーが開催されることになりました。9月10日深夜からの大雨で翌11日は大雨特別警報が出された仙台ですが、12日はご参加の皆様の熱意が通じて快晴となり、無事にセミナーが開催されました。仙台開催ということで東北各地からの参加が多く、会場はほぼ満員という盛況ぶりでした。

セミナーは菅原重生先生、久保田聡美先生の息の合った司会のもと、東北人の内に秘めたパスへの情熱が盛り上がる感じで進行していきました。

小林美亜先生のご講演「アウトカムに基づいたクリニカルパスの作成方法」では、アウトカムの定義、設定方法などわかりやすく、かつ丁寧に解説をしていただきました。医療者アウトカムを通じて、チーム医療でパスを生きたツールとして活用することの重要性についてもお話いただきました。アウトカム設定がパス運用において、いかに大切なのか改めて考えることができました。

瀬戸僚馬先生のご講演「電子パスの課題や問題点～診療記録としての品質保証と活用を中心に～」は、電子パス



使用時のルールの大切さや記載方法などの問題点、活用の仕方をわかりやすくお話いただきました。当院は電子カルテでなく、バンダーによってマスターが違うので電子パスの運用は難しいと思っていましたが、「電子パスを使用しないのはバンダーのせいではない」という言葉が強く印象に残りました。

北村道彦先生のご講演「輝け院内パス活動：医療の質向上とチーム医療の推進」では、全国の病院でのパス運用の悩みやパス使用率、岩手県内の病院のパス活動の実態の報告もあり、医療の質改善活動を展開している前向きな姿勢をうかがい知ることができました。登山や高山植物など癒しのスライドがあり、自然を愛する先生のお人柄が垣間見られるご講演でした。

三原美雪先生は「地域連携パスとIT～多職種協働とNet4U～」という演題のご講演でした。鶴岡地区の地域電子カルテ「Net4U」の歴史、実際の運用をご紹介いただき、地域連携パスにおけるネットワークの重要性を実感いたしました。地域連携での問題点として経済面、事務局機能の問題がありますが、パス活動を通じてできた素晴らしいパートナーシップでクリアされており、ご講演では数々のVTR紹介などもあり、いろいろとうらやましく思いました。

今回のテーマは「クリニカルパスを役立てよう！広めよう！～実践ノウハウ～2015」ということで応用編のセミナーでしたが、パスの基礎的な事項から現状の課題、未来像、さらにチーム医療や地域連携まで、わかりやすいえに濃い内容の連続でとても素晴らしい講演ばかりでした。このような教育セミナーを仙台で開催していただき、ご講演いただいた先生方、司会、解説を務めていただいた先生方、事務局をはじめ関係の皆様感謝いたします。東京、大阪では参加しにくい地方の方も多いかと思いますが、パス活動を一層盛り上げるためにも、今後も地方開催を続けていただけましたらありがたいです。



リレーエッセイ 第28回

一期一会
～この出会いを大切に～

岩手県立中部病院 高橋 奈美

毎回楽しく読ませていただいているリレーエッセイを自分が書くことになるとは夢にも思っていませんでした。松永高志先生からこのお話をいただいた時、内心、「なー！無理ですよ～」と思ったのですが、あの優しい笑顔と和やかな雰囲気についつい引き受けてしまいました。本当に私で良かったのか…と今も躊躇しながら書いている次第です。

私がパスと出会ったのは今から8年前。産休に入る後輩の代わりに急遽パス委員を頼まれました。外科病棟勤務の私は、「パス」を使ってはいいたものの、利点や欠点などよくわかっていない状態。私にできる？と不安な反面、新しいことを覚える興味はありました。

パス委員としての最初の仕事は、乳がん手術（日めくり）パスの作成でした。乳腺担当医師とパス素人の私が話し合いを重ね、リハビリ担当者に相談しながら試行錯誤を繰り返しました。時間を要してようやく完成した時には、（すでに後輩は出産していましたが）パス委員として少しだけ自信がついていました。

転機が訪れたのは、その翌年から始まった病院合併統合に向けた取り組みでした。電子カルテ導入に伴う電子パスの作成に関わり、外科病棟で使用されているパスの電子化を任せられました。医師とともに作業を行うなかで、外科医師が普段どんなことを考えて治療しているのか、理想の経過、指示の根拠などを理解することができました。パスの中身が見えてくると、楽しさ、面白さが出てきて、サクサク進んでいきました。医師の頭の中を見せてもらうと同時に、看護師目線での行為や患者の立場に立った思いも医師へ伝えました。無駄な行為はできるだけ避け、どこを見れば一番わかりやすいかなども共有しました。作業は短期間で行わなければならない、各診療科で1つ完成すれば十分だろうといわれていましたが、終わってみれば、14の作成にいたり、うれしい驚きでした。一日中パソコンに向かっていた日もあり、かなりの労力を要しましたが、ただ単に紙パスから電子パスに移すだけではないこの工程が、パス作成の楽しさを教えてくれたと思います。

平成21年4月に開院した新病院では、前院長の北村道彦先生と出会い、たくさんの知識とモチベーションの上がる言葉をいただきました。私の未熟さをプラスに捉えて、

どンドン前に押し出してくださり、貴重な経験を得ました。パス学会やパス研修会へ一緒に参加した際には、パスに精通するたくさんの方々を紹介していただき、そこからさらに新しい出会いへとつながっています。私が出会ったパス仲間の方々は、皆さん、どんな厳しい状況でも、良い職場、良いパスを目指し、楽しんでパス活動をされています。大きな刺激を受け、頑張る力をもらっています。すべての出会いが私を成長させてくれる宝物です。

平成25年1月より専任パスナースとして活動しています。看護体制から活動時間の確保が難しい施設は多いと思います。当院も同様です。加算が取れないことを理由に要望が通らないこともあります。ですが、たくさん業務が次々と降ってくる私たちの現場では、パスによって支えられている部分がとても大きいと感じています。専任パスナースとして、パスの良い部分、大きく貢献している部分をもっと可視化していかなければと思っています。今の自分にできることは何かを考える日々、北村先生から「できる範囲で少しずつ、休まずに進むことが大切」と教えていただきました。夢は多職種連携の要となるような「パス室」を作ること。まだまだ未熟な私ですが、いつの日も「志」を忘れずに一步一步進んでいきたいと思っています。

*写真は、済生会熊本病院クリニカルパス大会第100回記念の懇親会に参加させていただいたときのものです。



左から副島理事長、高橋奈美さん

事務局より

第16回 日本クリニカルパス学会学術集会

会 期：2015年11月13日(金)・14日(土)

会 場：東京ベイ舞浜ホテル クラブリゾート

(〒279-0031 千葉県浦安市舞浜1-7)

会 長：小西 敏郎 (東京医療保健大学 副学長)

メインテーマ：

『未来に向けたクリニカルパス

～スマートプラチナ時代の活用を探る～』

第16回学術集会公式ホームページ：

<http://www.congre.co.jp/jscp16/>